

関連項目：教育活動プラン④、⑥

学級の宝・きらりさんの紹介・エンカウンターで自尊感情を高める

目的

本校の児童は、明るく元気で、思いやりのある言動が多く見られます。しかし、自分に自信が持てない、自分の思いや考えをうまく伝えることができない、友だちづくりが苦手という児童もいます。そこで、自尊感情を高め、互いのよさを認め合うなかまづくりができるよう、賞賛の場を増やす、その子のよさやがんばりを認めて励ます、授業や活動の中で活躍の場を与えるなどに取り組むことにしました。

内容

● 「学級の宝」の設定と紹介 <目標に向かってチャレンジする>

各学級で「学級の宝」を設定し、その達成に向けて学級全体で取り組んでいる。その内容としては、学級の課題（生活・学習面）や学校行事・各教科などの教育活動と関連させて、目標を決めている。学期末には、全校で「学級の宝」を紹介し合い、各学級のよさやがんばりを全校で賞賛し、共有化するようにしている。



● 「きらりさん」の紹介 <なかまのよさを認め合う>

各学級で毎日、友だちのよさやがんばりを互いに認め合う「きらりさん」の紹介を行っている。その中から2ヶ月に1回、全校集会で各学級の「きらりさん」を紹介し、そのよさやがんばりを全校にも広めている。ここでは、児童からだけでなく、教師からもがんばっている児童を紹介し、よい行いやがんばりを認め、賞賛し合う場になっている。「きらりさん」で紹介された児童の名前や内容は、全校生が通る中央通路に掲示し、常に児童の目にふれるようにしている。このことが、大きな励みにもなっている。



● エンカウンター <自己表出の方法を学ぶ>

毎月第4木曜日に専門の外部講師を招いて、全校でエンカウンターを行っている。全校生が6つの色別グループで集まり、自己表現やコミュニケーションの仕方を学ぶゲームを通して、楽しくなかまづくりをしている。ここでは、学級の友だちだけでなく、異学年の友だちとのふれあいを通して、なかまづくりの楽しさや、おもいやりや協力する心も育てている。また、年間1回、各学級でも専門の外部講師によるエンカウンターを行い、友だち関係や学級づくりに生かしている。



● なかよしタイム <全校あそびによるなかまづくり>

毎週水曜日の昼休み、児童会を中心に6年生が計画した全校あそびの「なかよしタイム」を行っている。ここでは、サッカーやバスケットなどのスポーツ、歌を歌ったり鑑賞したりするミュージックステーション、読み聞かせや折り紙など、様々な活動を取り入れ、異学年と交流することで、自分のよさを発揮したり、友だちのよさを再確認して認め合ったりする場となっている。



成果

こうした取り組みをすることで、自分や友だちのよさやがんばりに気づき、互いに認め合うようになりました。また、異学年交流を通して、おもいやりや協力する心、なかま意識などが育ってきました。このような中で、児童の自尊感情も高まっています。今後も、児童が主体的に活動し、達成感や自己有用感を持つような活動の場を工夫し、児童の心に寄り添ったきめ細かな指導や支援をしていきます。